

## 目次

### 1. 2023年度合格速報

土壌医の会入会&資格登録ご案内  
2024年度の試験日程

### 2. 東京土壌医の会設立

### 3. 土壌医活躍中！

(株)新進 五十嵐学さん

### 4. 事業体土壌医の会紹介

日東エフシー(株)

### 5. イベントレポート

首都圏土壌医の会断面調査



## 1. 2023年度合格速報

2023年度の土壌医検定試験の合格発表が、1級が4月22日、2・3級が3月25日にありました。合格された皆さん、おめでとうございます！

今年は、北海道で新たに「帯広会場」が札幌土壌医の会のメンバーによって設置され、49人が受験。北海道は札幌と網走、帯広の3会場となり、受験しやすくなりました。帯広会場は来年も設置される予定です。

1級の合格者は14名(受験者86名、合格率16.3%)、2級の合格者は320名(受験者1,203名、合格率26.6%)、3級の合格者は882名(受験者1,548名、合格率55.7%)でした。

2級合格者には、福井県立福井農林高校の生徒2名も。高校生の2級合格は福井県で初めて、全国でも2012年度から2022年度までわずか6名だけ。地元のテレビや新聞でも大きく取り上げられました。

## 土壌医の会入会のご案内

土壌医の会は資格登録者を中心とした組織です。「地域土壌医の会」、「事業体土壌医の会」、「土壌医の会全国協議会」があります。計40ほどの団体がスキルアップ、交流、土づくり推進、土壌医検定受験勉強会など、さまざまな活動を行っています。2月には、新たに「東京土壌医の会」が誕生しました(次ページ参照)。各土壌医の会の連絡先や活動紹介は、URLをご覧ください。<https://soil-doctor.net/>

## 2024年度の試験日程

9~11月 研修会申し込み受付

10~12月 研修会実施

11月1日(金)~12月11日(水) 検定願書受付

2月9日(日) 検定試験実施

3月26日(水) 1~3級合格発表 ※予定

※これまで1級の合格発表は4月でしたが、次回の試験からすべての級を同時発表する予定です！

## 資格登録のすすめ 4/1 から申請開始！

日本土壤協会に資格登録することによって、名刺などに「土壤医」（1級）、「土づくりマスター」（2級）、「土づくりアドバイザー」（3級）の資格名称を3年間使うことができます。今年の申請は4月1日から10月21日までです。

初回の新規登録は6600円、3年に1回の更新は3300円です。希望者には携帯型の登録証（写真参照）を発行します（2200円）。資格を更新するには、継続研鑽（CPD）の単位を30以上取得する必要があります。詳しくは下記URLをご覧ください。

<https://www.doiken.or.jp/images/2024register1.pdf>



## 2. 東京土壤医の会設立

2024年2月15日に、地域土壤医の会として23個目となる東京土壤医の会が設立されました。会長は東京農工大学の豊田剛己教授、事務局長は東京都農林総合センターの坂本浩介さんです。

設立を記念して4月6日、東京農工大学小金井キャンパスで講演会が開かれました。オンラインを含めて全国から100人ほどが参加しました。豊田会長が挨拶したほか、坂本さんは「東京都の農業と土壌を取り巻く環境」について講演しました。東京都の土壌の課題として、①農業機械が小さいため作土が浅くなりやすい②直売向けの少量多品目栽培がメインで年間の作付け回数が多くなり肥料分が蓄積しやすい③施設栽培で耕うんのしすぎによる団粒構造の破壊（粉状化現象）を挙げ、対策が必要としました。

東京土壤医の会では、東京都に在住・在勤・在学する土壤医資格登録者を中心に、活動に参加いただける方を広く募集しています。連絡は、会事務局の坂本さんまで。tokyotodojoinokai@gmail.com



東京土壤医の会の設立を記念して講演した東京農工大の豊田会長（左）と東京都農林総合センターの坂本さん

### 3. 土壌医活躍中！～新進の五十嵐学さん～

#### ■ 自己紹介

株式会社 新進の購買部で働いている、五十嵐学と申します。

新進は漬物の製造・販売を行っている会社で、『福神漬のトップメーカー（Wikipedia より）』で各スーパー、量販店のプライベートブランド品も数多く製造しています。

その漬物の原料となる塩蔵野菜や調味資材、包装資材の購入担当をしています。

農家さんの畑を回ることが度々あり野菜の栽培についてお話をすることが多く、もっと勉強をしなくては。と思い独学で勉強を始めました。

栽培経過を確認にお客さんのところへ訪問した時、いつも嫌味しか言わない方がいました。あるとき栽培のことで専門的な事を話したら、顔が急ににこやかになり色々とお話をしてくれるようになりました。この変化に驚いたと同時にとても嬉しくなり、農家さんの立場になって話をする事の大事さを知りました。

そんな事などもあり本格的に勉強を始めた時に、友人から「土壌医検定」の事を聞き受験をして2級、1級と合格して今に至ります。



同社 HP より

#### ■ 土壌医になってから

1級受験の時に使用した「レタスハウスでの塩類集積改善」の業績レポートが「作物生産と土づくり」（2023年8・9月号）に掲載されたことを皮切りに「優良土づくり推進活動表彰」に応募。そして「土壌協会会長賞」を受賞。

その時に取材をして頂いた記事が「食料新聞、日本食糧新聞、上毛新聞（群馬県の地方紙）」に載り、その記事を見て頂いたライバル会社の会長様からのオファーで「漬物技術研究セミナー」で発表。

その時にアドバイザーとして参加されていた「高崎健康福祉大学」の先生と名刺交換をさせていただいたことがきっかけで、1年生、

2年生のキャリアアップ講習として1時限の講師を務めることとなりました。



発表する五十嵐さん

これは合格してから1年間での出来事です。『土壌医』の力すごい！！！！！！！！

#### ■ これから

食品加工業者が土壌医を取得していることは稀な事だと思います。

『良い製品を作るには良い野菜を作る必要がある。良い野菜を作るには良い土が必要である。』まさに利は元にあります。この事を念頭において、農家さんとより強い信頼関係が結べるよう努力を続けていきたいと思っています。

今までは気が付きませんでした。連作障害で困っている方、土壌病害で悩んでいる方が周りには沢山いらっしゃる事が分かりました。



01 MATERIAL COMMITMENT  
 野菜へのこだわり

野菜が持っている  
 本来のおいしさを引き出す。

土壌医として付けた知識をフル活用して土づくりを広めたいと思っています。

そして『土壌医検定試験』をもっと広く知ってもらおうべく普及活動をしていきます。

同社 HP より

五十嵐さんにご寄稿いただきました。ありがとうございました！

## 4. 事業体土壌医の会紹介～日東エフシーさん～

日東エフシーは、2020年に創立70周年を迎えた総合肥料メーカーです。

肥料は、作物の生命を支え人類の生命を支える食糧生産の基盤であり、さまざまな未利用資源を有効活用する“地球にやさしい存在”であることから、弊社では「地球にやさしく生命を支える」を理念に掲げ、肥料の開発・製造・販売を通じて、日本の農業の維持・発展に少しでもお役に立てるよう生産者の方々のニーズに応じた商品やサービスをお届けすべく全国各地で日々活動させて頂いております。



肥料メーカーとして、“肥料を施す土を知ることは活動の基本となる”ことから、弊社では全社的に土壌医の資格取得を推奨し、部署の垣根を越えて土壌に関する知識向上に努めています。社内の有資格者が増えて来たことを受け、2020年には「日東エフシー土壌医の会」として事業体の土壌医の会を設立し、今年で4年目を迎えました。ただ、コロナ禍において土壌医の会の活動をスタートしたこともあり、会員の知識向上を図る研鑽活動は、対面実施が難しく、土壌医9名によるオンラインでの講習が主体となりました。オンライン講習では土壌協会の機関誌「作物生産と土づくり」に投稿させて頂いた取組を中心に知見を共有するとともに、上位級の取得に向けた受験対策を行い、現在の会員数は99名となりました。(100名まではあと1名です！)


また、日本土壌協会のご指導の下、令和3年度からデータ駆動型土づくり推進事業にも参加させて頂き、化学性と物理性を組み合わせた土壌診断により、物理性を考慮した土づくりと施肥の改善に繋げることが出来ました。

また、日本土壌協会のご指導の下、令和3年度からデータ駆動型土づくり推進事業にも参加させて頂き、化学性と物理性を組み合わせた土壌診断により、物理性を考慮した土づくりと施肥の改善に繋げることが出来ました。

土壤医の会の活動を通して、土壤に関する研鑽を深める中で、「一人でも多くの生産者の方に土壤への理解を深めていただく機会を増やして行きたい！」との思いが強くなり、2023年10月から新たに土壤分析 Web サービスを開始しました。従来、弊社肥料のユーザーに限定して土壤分析を提供していましたが、土壤分析を栽培管理に活用したいすべての生産者に対象を拡大しました。SDGs やみどりの食料システム戦略にも適う「地球にやさしく生命を支える」お手伝いが出来るように、今後も土壤医の会の活動を充実させて行きたいと思います。

日東エフシーさんにご寄稿いただきました。ありがとうございました！



イベントレポート 

首都圏土壤医の会断面調査

3/23 開催

埼玉県さいたま市緑区見沼「こぼと農園」さんの圃場で土壤断面調査を行いました。当日はあいにくの天気でしたが、首都圏土壤の会員だけでなく総勢31名の方が参加しました。

下層の泥炭層にはよしなどの未分解の植物がはっきりとわかるもので、当日の参加者も、この土壤断面を見て腐植と有機物の多さに感激していました。



### 編集後記

今月号から新たに編集担当になりました、丸山と申します。日本農業新聞で記者として働いた後、現在は千葉大学大学院の博士課程で雑草の研究をしています。今年土壤医検定2級に合格しました。読んで楽しい、ためになる分かりやすい誌面を心がけます！

ご感想、ご寄稿等をお待ちしております。[e-mail@soil-doctor.net](mailto:e-mail@soil-doctor.net)までお寄せ下さい。